

## 受付エラー連絡票

### 受付エラー連絡票の見方と再請求手順

作成日	2016年7月21日
最終更新日	2016年7月21日
機種	fineシリーズ

## 受付エラー連絡票について

レセプト提出後に、「受付エラー連絡票」が届いた時はエラーコードを確認し、再提出が必要なエラーは修正後、提出しなおして下さい。

平成21年 1月分 受付エラー連絡票

1 ページ  
処理年月日 21年 1月 10日

点数表：歯科 郡市区番号：01 医療機関コード：01XXXXX 名称：基金歯科医院

××× 社会保険診療報酬支払基金

レセプト番号	法別番号	区分	入院・入院外の別	患者氏名	エラーメッセージ
000022		家族	入院外	基金 太郎 期組 33.05.06	2553 当該項目の桁数が不足しています。 レコード識別情報【H0】 レセプト内レコード番号【0003】 レコード内項目位置【002】
000030		本人	入院外	新橋 花子 期組 44.04.04	2553 当該項目の桁数が不足しています。 レコード識別情報【H0】 レセプト内レコード番号【0003】 レコード内項目位置【002】  2544 この項目に使用できない文字が記録されています。 レコード識別情報【HS】 レセプト内レコード番号【0004】 レコード内項目位置【007】

	件数(件)	点数(点)
請求分	200	358.759
受付分	198	356.387
L2エラー分	2	

注 1. エラーメッセージのエラーコード2000番台(L2エラー)は、受付の結果、レセプト単位でエラーとなっているため、再請求が必要なもの。  
2. エラーメッセージのエラーコード4800番台(L48エラー)は、エラーとして連絡しているが、正常分として受付処理しているため、再請求が不要なもの。  
3. 「レセプト内レコード番号」とは、医療機関情報レコード(国レコード)から数えて、エラーが何行目のレコードに存在するかを示す。  
4. 「レコード内項目位置」とは、1レコード内の先頭から数えて、エラーが何番目の項目に存在するかを示す。

このコードで再請求が必要かどうかを判断します。1000番台と2000番台は再請求が必要になるので、エラー内容を訂正後請求漏れにて再請求してください。

(コードの種類に関しては **3ページ参照**)

エラーの詳細が記載されています。レコード識別情報はエラーが出ている場所を示しています。

(詳しくは **4ページ参照**)

## エラーメッセージのコードの種類

- 1 エラーコード1000番台（L1エラー）は、医療機関単位でエラーとなっているため、再請求が必要なもの。
- 2 エラーコード2000番台（L2エラー）は、レセプト単位でエラーとなっているため、再請求が必要なもの。
- 3 エラーコード4800番台（L48エラー）は、エラーとして連絡しているが、正常分として処理しているので再請求が不要なもの。
- 4 エラーコード3000番台（L3エラー）は、レセプト内でエラーが確認され、要確認となったもの。  
（返戻となる要確認レセプト）
- 5 エラーコード4000番台（L4（L48を除く）エラー）は、レセプト内でエラーが確認され、要確認となったもの。  
（査定又は返戻若しくは正当となる要確認レセプト）

2000番台のエラーが一番多いです。  
よくあるエラーの直し方は6ページ以降を参照してください

## レコード識別情報の見方

レコード種別		識別情報	
請求データ	医療機関情報レコード	I R	
	レセプト共通レコード	R E	
	レセプト情報	保険者レコード	H O
		公費レコード	K O
		国保連固有情報レコード	K H
	傷病名部位レコード	H S	
	診療行為情報	歯科診療行為レコード	S S
		医科診療行為レコード	S I
		医薬品レコード	I Y
		特定器材レコード	T O
		コメントレコード	C O
		日計表レコード	N I
	症状詳記レコード	S J	

例)

当該項目の桁数が不足しています。

レコード識別情報〔H O〕

レセプト内レコード番号〔0003〕 レコード内項目位置〔002〕

※レコード識別情報の〔 〕に入っているアルファベットでどこがエラーになっているかを判断します。

例) だと〔 〕内はH Oのため、保険者番号、被保険者記号、被保険者番号などの入力桁数を確認してください。

## レコード識別情報で示している項目

- 【IR】・・・医療機関コード、請求年月、電話番号 等
- 【RE】・・・診療年月、名前、男女区分、生年月日、給付割合、診療開始日、  
転帰、特記事項 等
- 【HO】・・・保険者番号、被保険者記号、被保険者番号、実日数、合計点数
- 【KO】・・・公費負担者番号、公費受給者番号
- 【HS】・・・傷病名
- 【SS】・・・歯科の診療
- 【SI】・・・医科の診療
- 【IY】・・・医薬品
- 【TO】・・・特定機材
- 【CO】・・・摘要など

## レセプト内レコード番号、レコード内項目位置について

どのあたりの位置でエラーになっているかを示しています。（下記参照）

- ・例) レセプト内レコード番号〔0003〕 レコード内項目位置〔002〕  
→医療機関情報レコードIRから数えて、エラーが3行目のレコードに存在し、  
そのレコード内の先頭から数えて2番目の項目にエラーがあることを示して  
います。

## よくあるエラーの直し方

2170 公費受給者番号が記録されていません。  
レセプト種別 [XXXX]  
公費負担者番号 [XXXXXXXXXX]  
公費受給者番号 [XXXXXXXXXX]  
レセプト内レコード番号 [XXXX] レコード内項目位置 [XXX]

公費負担者番号が記載されていない時に出るエラーです。  
患者情報の公費負担者番号、公費受給者番号を確認し入力してください。

例) 公費併用の子供医療や一人親、障害者などの番号が入っていない。  
生保の番号が正しく入っていない等

2539 次の項目に、記録可能な文字数を超えるデータが記録されています。  
レコード識別情報 [XX]  
レセプト内レコード番号 [XXXX] レコード内項目位置 [XXX]

レコード識別情報で指定された場所に、記録可能な文字数を超えるデータが記録されている場合に出るエラーです。  
入力画面を確認し、指定された場所に長い文字が記載されている可能性が高いため修正してください。

2543 次の項目の記録モードが誤っています。  
レコード識別情報 [XX]  
レセプト内レコード番号 [XXXX] レコード内項目位置 [XXX]

レセプト識別情報で指定された場所に記録されている項目が間違えています。  
窓口入力画面で指定された場所を確認し、入力が誤っていないかどうかを確認してください。

例) 特記事項に数字以外の文字が記載されている等

2 5 4 4 次の項目に使用できない文字が記録されています。  
レコード識別情報 [X X]  
レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X]

指定された場所に使用することができない文字が記録されています。  
窓口入力画面で該当する場所を確認し、入れなおしてください。

2 5 5 3 当該項目の桁数が不足しています。  
レコード識別情報 [X X]  
レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X]

指定された場所に記載されている項目の桁数が違います。  
正しい桁数で入力してください

例) 被保険者番号が間違えて入力されている等

2 5 5 4 傷病名部位レコードが記録されていません

傷病名が1つも入っていません。  
窓口業務を起動し該当月に変更後、傷病名を入力してください

2 7 5 0 入院外レセプトの診療開始日の記録が誤っています。  
診療開始日 [X X X X X X X]  
レセプト内レコード番号 [X X X X] レコード内項目位置 [X X X]

診療開始日の入力が間違えています。  
正しい診療開始日を患者情報の初診算定日に記載してください。

4892 医療機関名称が審査支払機関に登録されている医療機関名称と異なっているため、  
審査支払機関に登録された医療機関名称に置き換えて受けました。  
医療機関名称 [XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXクリニック]

再請求は必要ありません。

マスタメンテナンスの中の医院環境設定で電算用医療機関名称を訂正してください。

※スペース等が入ってしまってもこのエラーが出ます。スペースも入れないでください。

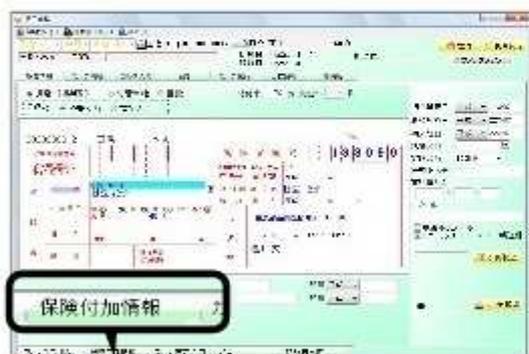
## 再請求の仕方

受付エラー連絡票のエラーを直したら、下記操作で当月分のCDに含め、再請求します

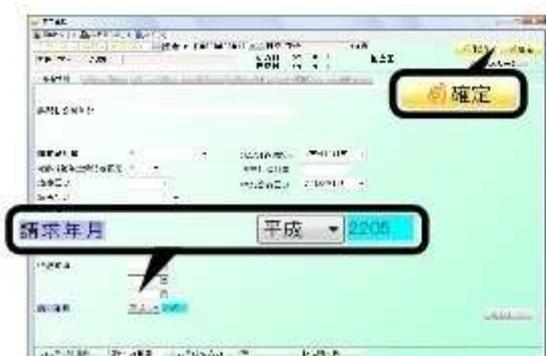
1 メインメニューから【窓口】をクリックします。



2 患者を呼び出していない状態で画面左上の処置日付の【▼】をクリックし、訂正したい日付に変更します。



3 【保険付加情報】タブをクリックします。



4 「請求年月」にレセプトを総括表に反映させたい年月(4桁)を入力し、【確定(F12)】→【患者終了(F12)】をクリックします。

以上